

発達支援ルームひなた 支援プログラム

【事業所基礎情報】

- ① 事業所名：発達支援ルームひなた
- ② 2025年3月21日 公表
- ③ 理念： 無限の可能性を引き出し、未来へつなぐ
スローガン 『ひとは変われる なんでもできる 「生きる力」は たからもの』
ひなたで一番大切にしている言葉です。凸凹があっても大丈夫。その子1人ひとりの成長のペースも内容も違います。
私たちは、今必要な支援、そしてお子さまが将来自立して生活出来るようになるため必要な支援、いろいろな方面から1人ひとりのお子さまが必要なスキルを伸ばせるようオーダーメイドの療育をしたいと考えています。
ご家族のみなさまと共に手を取り合い、自信をもって安心して社会に羽ばたいていけるお手伝いをします。
- ④ 支援方針（目的）
 - ・地域に根付き、地域のために活動し、地域に信頼され愛される施設を目指します。
 - ・利用者様だけでなく、保護者・支援者・職員全ての人が幸せを感じる施設を目指します。
 - ・一人一人にあったサポートや、自信につながる成功体験を増やし、将来自立した生活ができるよう支援します。
 - ・子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開できるようにするため5領域から構成した総合型の療育を提供し、子どもの自立を支援します。
- ⑤ 営業時間：学校開校日 9時30分～18時30分
学校休校日 9時00分～18時00分
ただし、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日を除く
- ⑥ 送迎実施：送迎あり

【発達支援ルームひなたでは、次の支援を行います。】

発達支援ルームひなたでは、児童発達支援・放課後等デイサービスで発達支援5領域を取り入れたプログラムを作成しています。

- ⑦ 本人支援の内容と5領域関連性
子どもの能力向上を目指す支援で、グループで行う集団方式と、マンツーマンの個別方式とがあります。「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域に対する支援が行われます。

発達支援5領域

①健康・生活…健康状態の維持・改善、生活のリズムや生活習慣の形成、基本的生活スキルの獲得
健康な生活を送ることを目標とした取り組みを行います。本人が習得すること

- ・健康管理の仕方
- ・規則正しい生活リズム
- ・上手な食事の仕方
- ・生活スキル（清潔保持、衣類着脱など）

②運動・感覚…姿勢と運動・動作の向上、姿勢と運動・動作の補助的手段の活用、保有する感覚の総合的な活用

運動と感覚を向上させることを目標とした取り組みを行います。

- ・姿勢保持や身体の動かし方
- ・姿勢保持や身体を動かすための補助具の使い方
- ・移動能力の向上
- ・五感の活用
- ・五感補助具の活用（メガネ、補聴器、イヤーマフなど）

③認知・行動…認知の発達と行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得、対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

認知したものを行動につなげるための取り組みを行います。

- ・五感で情報を認知する
- ・認知した情報を行動につなげる
- ・認知や行動の手掛かりとなる周囲の状況をつかむ
- ・数量・大小・重さ・色などを理解する
- ・認知した情報を適切に処理する

④言語・コミュニケーション…言語の形成と活用、言語の需要および表出、コミュニケーションの基礎的能力の向上、コミュニケーション手段の選択と活用

言語とコミュニケーションを円滑にするための取り組みを行います。

- ・言葉を覚えて、声に出す
- ・相手の言葉を理解し、自分の考えを伝える
- ・指さし・身振り・サインなどが使えるようになる
- ・文字の読み書き
- ・コミュニケーション手段が使えるようになる（文字・記号・絵カード・機器・手話・展示など）

⑤人間関係・社会性…他社との関わり（人間関係）の形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加

人間関係を通して社会性を育むことを目標とした取り組みを行います。

- ・周囲との安定した関係作り
- ・相手の行動をマネすることによる関係作り（模倣行動）
- ・「ごっこ遊び」などを通じて社会意識を育む
- ・皆で協力し合う「共同遊び」などを通じて他社との関係作りを培う（ままごと、工作など）
- ・自分の行動の特徴を知って、気持ちをコントロールする
- ・集団参加の手順やルールを理解する

支援内容

療育（あそび）の中には5領域にある内容複数が含まれていますが、表にあるあそびの中で主な領域で示しています。

①健康・生活 ②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

活動プログラム 例（活動内容の一部を紹介しています）

児童発達支援（10時～12時30分）

あそび・生活場面	ねらい	内容	発達支援5領域
・荷物整理 ・給食 ・排泄 ・着脱	持ち物意識をつける。 生活の流れを知り、見通しを持って過ごす。 生活動作を身につける	荷物を出す場所を視覚的に示す。 個々に合わせた食事動作の練習を行う。 24時間の睡眠リズムを把握し、安定したリズムを整える。 生活動作を身につける。	①健康・生活 ③認知・行動
運動遊び ・サーキットトレーニング ・ボール遊び ・ふれあい遊び ・ボルダリング	身体の使い方を知る。 可動域を拡げる。 ボディイメージをつける。 体力をつける。 受け入れられる感覚の幅を拡げる。	手で体重を支える。手で引き寄せる。足で支える。バランスを取る。くぐる。隙間を通り抜ける。持って進む。運ぶ。複数の遊びを組み合わせ、同時に処理しながら動作を行う。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
制作 ・ハサミ ・糊 ・絵具 ・描画	手先の巧緻性を高める。 目的を持って作る。 出来上がりを喜ぶ。 見せたい気持ちを育む。 手順を知り行動する。	季節に合わせた制作を行う。 見本を見て同じように作ろうとする。 自分なりに表現する事を促す。 手に絵の具や糊が付くなど、感覚の苦手さに配慮しながら、取り組める方法を一緒に考える。	②運動・感覚 ③認知・行動
感触遊び ・小麦粉粘土 ・スライム ・パン粉粘土	触った感覚を楽しむ。 硬さや温度などを手で感じ取る。	触った時の違いに気づく。手に付く感覚を楽しむ。 感じた事を共有する。 手で確かめる。	②運動・感覚 ③認知・行動
言葉あそび ・絵本あそび ・かるたあそび ・カードあそび	絵本やカードの言葉と生活の言葉をつなげる。 共通のイメージをつくる。	絵本やカードに出てくるものと、実際の写真や現物を用意し、遊びの中で結びつける。 認知をひろげる。	③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
集団あそび ・だるまさんが転んだ ・しっぽ取り ・フルーツバスケット ・おにごっこ ・いすとりゲーム	共通のルールであそぶ。 遊びの中の役割を知る。 勝ち負けを知る。	取り組む前にルールの確認をし、共通のルールで遊ぶ楽しさを知らせていく。 役割を意識して遊び、ドキドキを感じたり、勝った時の達成感や優越感を知らせる。 負けた時の気持ちの切替や、もう一回やりたいという気持ちを引き出す。	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
生活遊び ・お買い物ごっこ ・お洗濯ごっこ	見通しをもつ。 イメージを拡げる。 やり取りのルールを知る。 お金について知る。	疑似体験する中で見通しが持てるようにする。 実物とは異なっている、衛生面などを意識できるように知らせる。 お金の役割を知らせ、お店の人との関わり方や困った時の対応についても知らせていく。	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性

放課後等デイサービス（学校開校日 14：30～17：30 学校休校日 9：40～15：30）

あそび・活動	ねらい	内容	発達支援5領域
・荷物整理 ・排泄 ・おやつ	持ち物意識をつける。 流れを知り、見通しを持って過ごす。 食の時間を楽しむ。	荷物を出す場所を視覚的に示す。 個々に合わせた排泄トレーニングをする。 皆で揃って食べる事で食に興味を持ち、マナーを学ぶ。	①健康・生活 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
運動遊び ・サーキットトレーニング ・ボール遊び ・おにごっこ遊び ・なわとび	身体の使い方を知る。 可動域を拡げる。 ボディイメージをつける。 体力をつける。 受け入れられる感覚の幅を拡げる。	手で体重を支える。手で引き寄せる。足で支える。バランスを取る。くぐる。隙間を通り抜ける。持って進む。運ぶ。複数の遊びを組み合わせ、同時に処理しながら動作を行う。	②運動・感覚 ③認知・行動 ⑤人間関係・社会性
制作 ・折り紙 ・ハサミ ・糊 ・テープ ・絵の具 ・ブラバン ・紐通し	手先の巧緻性を高める。 目的を持って作る。 出来上がりを期待する。 完成を喜ぶ。 見せたい気持ちを育む。 工程順序を知り行動する。	見本を見て作り方ややり方を理解できるようにする。個々に合わせて、一度に示す、順を追って示すなど見本のやり方を変える。自分なりに表現する事を促し、評価を気にせず取り組めるようにする。手に絵の具や糊が付くなど、感覚の苦手さに配慮しながら、手拭きを用意するなどして安心して取り組める方法を一緒に考える。	②運動・感覚 ③認知・行動 ④言語・コミュニケーション
感触遊び ・小麦粉粘土 ・スライム ・パン粉粘土	触った感覚を楽しむ。 硬さや温度などを手で感じ取る。	触った時の違いに気づく。手に付く感覚を楽しむ。 感じた事を共有する。 手で確かめる。	②運動・感覚 ③認知・行動
体験遊び ・買い物トレーニング ・清掃活動 ・実験遊び	見通しをもつ。 イメージを拡げる。 なりきる事を楽しむ。 やり取りのルールを知る。 お金について知る。	実際の物とは少し違っていても、見立てて、つもりで取り組めるようにする。店員役はエプロンをつけるなど、見た目で職員との区別がつくようにする。怪我につながらないように、危険な所を事前に確認しながら行う。達成感が持てるようにし、体験したことを言葉で表現することを促す。	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
言葉あそび ・かるた ・3ヒントゲーム ・しりとり	言葉を聞き分ける 絵を見分ける 知っている事と結びつけて考える	繰り返し取り組む中で、遊びを知らせていく。 勝った事だけに注目せず、頑張った姿を褒めるなどする。 聞く力を高めたい時は、視覚情報をできるだけ少なくする。	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
クッキング	食に興味を持つ。 包む・剥く・入れるなどの操作性を高める。	役割を意識しながら取り組めるようにする。衛生面や道具の使い方を知らせる。 実際にさわり、味わう中で感じた事を言葉で表現し、擬音語や形容詞と繋げていく。	①健康・生活 ②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション ⑤人間関係・社会性
集団遊び ・鬼ごっこ	共通のルールを知る。 皆が遊びやすくなるよ	納得して遊ぶためのルールに取り組む前に確認し、共通のルールで遊ぶ楽しさを知らせていく。	②運動・感覚 ④言語・コミュニケーション

・だるまさんが転んだ ・ジャンケンあそび ・しっぽ取り ・転がしドッチ ・トランプ	う提 案を行う。勝ち負けの判断基準の共有公平性を知る。 憧れの気持ちをもつ	負けた時の気持ちの切り替えや、もう一回やりたいという気持ちを引き出す。年齢に合わせたハンディのつけ方や遊び方を一緒に考える	ケーシヨ ⑤人間関係・社会性
---	--	---	-------------------

⑧ 家族支援(児童発達支援・放課後等デイサービス)

- ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助
- ・子育ての困りごとへの相談援助
- ・保護者同士の交流の機会提供
- ・子育てや障害に関する情報提供
- ・兄弟姉妹への相談援助

⑨ 移行支援(児童発達支援・放課後等デイサービス)

- ・インクルージョンを推進
- ・将来的な移行を見据えた目標や支援内容設定
- ・進路先や移行先の選択への相談援助や情報提供
- ・併用利用先や学校との情報共有や支援の摺り合わせ
- ・サポートファイル及びサポートブックの作成支援

⑩ 地域支援・連携

- ・併用事業所や学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助
- ・相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との支援の連携
- ・医療機関との情報連携や調整
- ・機関センターや他の事業所との連携
- ・防災を含めた地域住民や関係機関との連携

⑪ 職員の質の向上に資する取組

- ・専門研修、課題別研修等への参加
- ・虐待防止・身体拘束等の研修への派遣や内部研修の実施。
- ・法人・事業所の運営に係わる資格取得研修へ派遣。

⑫ 主な行事等

- ・初もうで、節分、ひなまつり、夏まつり、ハロウィン、クリスマス など
- ・同法人保育園の夏まつりでのお店屋さん出店、地域高齢者施設との交流会 など